

守山市地域公共交通網形成方針（R2～R6）の実施状況について

守山市地域公共交通網形成方針で示した各施策・事業の令和2年度～令和5年度までの実施状況（経過）を、下表に示す手順・方針で整理し、施策の継続の有無を検討しました。

整理手順	整理の判断方法
進捗	◎：完了または目標達成 ○：完了に向けて実施中 △：検討・研究中 ×：未着手
評価	継続：今後も施策を継続 完了：施策が完了（すでに定着しているため計画に記載しない） 中止：施策のあり方や今後の継続を検討し施策を中止（計画に記載しない）
実施状況と今後の対応	施策の実施状況や今後の対応方針に関するコメントを記載

I. 既存公共交通を活かした利便性の向上

施策（大項目）	施策（小項目）	進捗	評価	実施状況と今後の対応
幹線路線バスを中心とした公共交通の利便性向上	利便性の高いダイヤや運賃サービスの実現に向けた検討	○	継続	JRやバス路線間の接続性向上等について、交通事業者とともに研究中。今後、運賃サービスも含め、より利用者の利便性向上のための取り組みを検討する。
	BTS（自転車駐輪場）の整備	◎	継続	美化活動や、駐輪状況改善に向けた啓発活動を実施した。今後も利用環境の向上のための取り組みを継続するとともに、増設・移設等による適切な配置や整備について引き続き検討する。
	近隣市と連携した交通網の形成（くるっとバスの運行）	◎	継続	「くるっとバス」について、コロナ禍においても路線を維持。今後も交通空白地の移動手段の一つとして運行を継続する。
限られた経営資源等に基づくバス路線最適化の検討	路線再編に向けた検討	◎	継続	令和3年4月には、わかりやすいバス路線の構築等を目的として、一部路線の再編を実施。今後、市・交通事業者・地域・関連機関が連携し、効率的かつ利便性の高い持続可能なバス路線の構築について、長期的な視点で可能性の検討を継続します。

施策（大項目）	施策（小項目）	進捗	評価	実施状況と今後の対応
	市民ニーズを踏まえた目的地への運行の検討	◎	完了	令和3年4月の路線再編において、事業者との調整により、もりやまエコパーク行きおよびイオンタウン野洲行きの交通手段を確保した。
需要／供給の両面からの渋滞対策	JR 守山駅西口ロータリーの改善	○	継続	令和元年度から調査を行う中、令和4年度に守山駅西口の渋滞対策の具体策について検討した。 今後は、整備や運用方法を含めた守山駅西口の方角性について引き続き検討する。
	マイカー利用者を対象としたモビリティ・マネジメントの実施	△	継続	場所や対象者の選定など、適切な実施方法について研究中。 今後も引き続き、どのような手法が効果的か研究を継続する。
ICT や AI など各種情報技術の導入による既存公共交通の効率化等に向けた検討	—	○	継続	効率化やサービス向上のため、近江鉄道バスにICカードを導入。今後は、情報技術に関する最新情報を注視するなか、サービス向上につながる新たな技術の導入可能性について随時検討する。

Ⅱ. 高齢者や子どもをはじめ誰もが安心して利用できる環境づくり

施策	施策概要	進捗	評価	実施状況と今後の対応
バス待ち、タクシー待ち等の利用環境の整備	高齢利用者の多い乗り場のベンチ等の設置	○	継続	関係機関と連携し、もーりーカーの乗降場所1か所に椅子を設置した。 引き続き、利用者が多く、必要性の高いバス・タクシー・もーりーカーの乗り場について、ベンチ等の設置を検討する。
	その他のバス待ち環境対策の実施	○	継続	全国的な危険なバス停についての取り組みの中で、国や事業者と連携して調査等を行い、対策が可能なバス停については、移設等の対策を実施した。 また、商業施設等のバス待ち施設としての活用方法についても検討中であり、今後、他の手法も含めて、利用促進につながる効果的なバス待ち環境の整備を検討する。
	手荷物配送サービスの実施に向けた検討	△	継続	公共交通では持ち帰りが難しい購入物の配送サービス等について、他市の事例等を収集し、適切な手法について研究中。今後も研究を継続する。

施策	施策概要	進捗	評価	実施状況と今後の対応
「もーりーカー」のさらなる利便性向上	ドア to 特定目的地または乗降場所 to 商業施設・診療所等の検討	○	継続	令和3年4月に、目的地の追加や登録要件の追加や緩和を実施。また、令和4年4月に乗降場所や目的地の追加、学区制の廃止、目的地間の移動、介助者の同乗などの制度改正を実施した。 今後は、路線バスやタクシーとの役割分担を踏まえた上で、アンケート調査等の結果を基に、利用者ニーズに応じた制度の在り方について、引き続き検討する。
タクシーの役割を活かした取り組み支援	—	◎	継続	「こどもタクシー」「子育てタクシー」等の取り組みを継続した。今後も事業を続け、守山市は周知等により事業の支援を行う。
免許返納者に対する公共交通利用促進	免許返納者割引の継続	◎	継続	運賃の割引を維持した。今後も、割引や交通施策の利用促進に向けた周知を継続する。
	免許返納者のバスの試し乗りの実施	△	継続	コロナ禍の影響により試し乗り等の実施は検討を見送っている。ただし、令和5年度から、免許返納を行う場所において、高齢者おでかけパスやもーりーカーの制度の周知を開始した。 今後、試し乗り等についても、交通事業者や関連機関と連携し、対象者の集め方や開催場所、頻度等、効果的な内容となるよう実施手法を検討する。
公共交通への親近感を高める取り組みの実施	—	○	継続	滋賀県主催の交通環境学習に同行し、市内の小学生を対象に路線バスの利用方法等を説明。今後、コロナ禍で開催が見送られていた滋賀県バス協会主催の「バスの日まつり」の周知徹底を図るなど、バスに親しみを持ってもらうための取り組みを継続する。
スマートフォンによる予約・決済の実施等	—	△	継続	現在、一部の電子決済が利用可能となっている。アプリでのタクシー配車については、GPSの精度などの課題があり、研究中。 今後、新たな技術やサービスの動向を注視するなか、交通事業者と連携し、スマートフォンを利用した予約や決済のさらなる活用の可能性について、引き続き検討する。

Ⅲ. 各種媒体を活用した行動の転換を促す積極的な情報提供

施策	施策概要	進捗	評価	実施状況と今後の対応
公共交通に関する積極的な情報提供の実施	お出かけマップの作成	×	継続	コロナ禍の影響により未着手となっている。本施策については、行動変容にもつながる内容であるため、「利用促進を図るための積極的な情報提供」の項目に含み、情報提供の手法等も含めて検討する。
	路線バスの現在位置情報の提供	△	継続	他自治体の事例や新たな技術について研究中。今後、交通事業者や関連機関と連携し、ICTを活用した情報提供について、導入可能性を検討する。
行動変容を目指す情報提供の実施	利用促進（使い方、乗り方）を図るための積極的な情報提供	○	継続	自治会等を対象に、モーリーカーの説明会・登録会を実施した。今後も引き続き、バス・タクシー・モーリーカー等に関する積極的な情報提供を継続する。また、効果的な情報提供の新たな手法等について検討する。
	幅広い層を対象としたモビリティ・マネジメントの実施	○	継続	滋賀県主催の交通環境学習に同行し、市内の小学生を対象に路線バスの利用方法等を説明。今後も取り組みを継続するとともに、新たな層を対象とした取り組みについて検討する。
SNS やスマホアプリを活用した情報提供の実施	—	○	継続	現在、市のホームページや広報誌において、交通施策の周知を行っている。また、令和4年度には、モーリーカーが制度開始10周年を迎えたことを記念して、市広報誌において利用者の声などを掲載した。今後、SNS等の効果的な活用方法についても研究を続ける。

Ⅳ. 地域発ボトムアップ型の持続可能な地域公共交通づくり （自助・共助による取り組みの推進）

施策	施策概要	進捗	評価	実施状況と今後の対応
地域の公共交通の需要（利用促進）を踏まえて地域とともに考	地域公共交通のあり方を考える場づくりの創出	○	継続	令和3年度に、まちづくり会議（市民懇談会）のなかで、交通に関する課題について市民が話し合う機会を設けた。また、令和4年度にも市民懇談会を開催し

施策	施策概要	進捗	評価	実施状況と今後の対応
える適切な交通手段の検討				公共交通について話し合いを実施した。今後も引き続き機会を設け、機運醸成や周知啓発を図る。
	地域に適した移動手段の実現に向けた検討	△	継続	他自治体の事例や新たな技術について研究中。今後、地域にとって適切な移動手段の把握に努め、必要な取り組みについて検討を行っていく。
公共交通に関する取り組みへの地域の参画促進	「わ」で輝く自治会応援報償事業を活用した「公共交通に関する学習」機会の創出	◎	継続	公共交通を利用して研修会等の行事を実施した自治会に対しての補助メニューを追加した。また、バスやモーリーカーのチラシを作成・配付した自治会に対する補助メニューを追加した。
	公共交通との関わりの場の創出	◎	継続	「わ」で輝く自治会応援報償事業の中で、バス停の整備等を行った自治会に対しての補助メニューを追加した。